

## 第1回新博物館のあり方部会 検討の進め方

下記の論点にそって、説明、意見交換をお願いします。

### 論点1 いまなぜ三重の新博物館か

「いまなぜ三重に県立博物館が必要なのか」について、県立博物館のもつ一般的な意義・目的とあわせて、「いまなぜ三重に」という点について、県の考え方や文化振興拠点部会での検討結果をもとに、意見交換をお願いします。

#### 【説明順序】

県がいまなぜ文化振興策の一環として博物館のあり方を検討しようとしたか、について説明します。

資料 2

文化振興拠点部会の検討内容を報告します。

資料 3

これまでの新博物館整備の検討経過について説明します。

資料 4

#### 【意見交換のポイント】

なぜいま文化振興なのか、三重の博物館なのか、についての意見交換

文化振興を進めていく拠点のひとつとしての博物館に期待される役割等についての意見交換

## 論点2 どのような博物館が必要か

博物館に期待される役割等を前提とすると、どのような博物館が必要でしょうか。機能や体制等について、自由な意見交換をお願いします。

### 【説明順序】

博物館建設目的の変遷と先進的事例について説明します。

資料 5

資料5の補足として、三重県立博物館について、現在の状況等の詳細を説明します。

資料 6

博物館と公文書館の特徴、違い等について説明します。

資料 7

### 【意見交換のポイント】

できるだけ最初に明確にしておきたい点等について、まとめてみました。

総合博物館か専門博物館か

総合博物館か専門博物館（歴史系、自然系など）かについてはどのように考えるべきでしょうか。

「歴史系（又は自然系）に重点を置いた総合博物館」という考え方もあると思われます。また、総合博物館であっても、テーマ性というのは重要になると考えられると思われます。

機能 ~ 限定的かフルセットか ~

従来から博物館の基本的な機能とされる収集・調査研究・展示公開・教育普及などの博物館の機能としては、どのように考えればよいでしょうか。

博物館の目的や役割等を踏まえると基本的には、収集、展示、調査研究はセットで考えるべきであり、博物館法等でもセットでとらえることが前提となっていると考えられます。

しかし、三重の博物館をどうしていくかの検討のなかで、機能をどうするか、現実どこで機能を果たすのか、ということは別に考えることも可能であるともいえます。

文化振興拠点部会では、収集のみの博物館や、「知の拠点」として機能統合のセンターとしての博物館、建物にこだわらない博物（館）システムの提案もありました。

県民に開かれた博物館、利用者本位の博物館

県民参画のイメージについて自由に意見交換をお願いします。  
利用者本位の博物館とは。

公文書館の必要性

公文書館の設置については、単独館とするか、機能併設するか等考え方がありません。どのように考えればよいでしょうか。